

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は好センチメントが悪材料を覆う形でレアル高となる展開でした。朝方は週次サーベイで今年末の成長率見通しが引き下げられたことから、先週末比レアル安の2.35台前半で取引されました。しかし、ウクライナが国際支援を受けられるとの見方が強まつたことや先週発表された財政引締の方針やインフレ抑制見通しを好感するレアル買いが継続したことなどからレアル高へ切り返し2.33を割り込みました。その後は、2.32台後半が先月つけたレアルの直近高値水準であったためポジション調整が入り、2.34台に戻しました。引けにかけてはもみ合いとなり、結局相場は2.34台前半で引けています。

2月を振り返ると全般的にレアル高が進行する形となっています。これは財政規律が好転するとの観測やトニビニ総裁によるインフレ抑制への自信がそれまで進行していたレアル安の調整を誘発したためと思われます。アルゼンチンショック後のレアル安をほぼ埋めた格好となりブラジルへの伝播がないとの観測を支持する動きですが、調整が終わった後に再びレアルの真価が試される展開となるでしょう。トニビニ総裁は週末のG20で変動為替相場制には経常収支の自律調整機能があることを述べ、レアル安が問題なのではなくそれ自体が解決策になる点を強調しています。言葉を変えたレアル安容認なのですが、ブラジルの非効率性が利上げによるインフレ抑制への感応度を下げているようにレアル安も経常収支への感応度を下げているため、総裁の言葉通りであればより大幅なレアル安が必要になります。いずれにしても持続的レアル高を見込むには時期尚早ということでしょう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	2月21日	2月24日	前日比	1月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,69	43,78	+0,09	42,68	+1,10
USD / BRL Spot	BRL	2,3457	2,3413	-0,0044	2,3975	-0,0562
USD / JPY Spot	JPY	102,51	102,51	+0,00	102,31	+0,20
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.380	47.394	+14	47.787	-393
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	180,0	171,7	-8,3	211,0	-39,3
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,58	12,51	-0,07	12,94	-0,43
DI Future Jan15 (金利先物)	%	11,06	11,05	-0,01	11,13	-0,08
3 Months US Dollar Libor	%	0,235	0,234	-0,001	0,235	-0,001
CRB Index (国際商品指数)	Index	301,6	302,2	+0,6	282,5	+19,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

